

双葉東小学校 学校関係者評価書（前期）

平成20年 8月 5日（火）

双葉東小学校学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：平成20年 7月28日（月）午後7時30分～

会場：双葉東小学校会議室

参加者：（学校関係者評価委員）

- ・ 前田英二・長谷部集・中村めぐみ
- ・ 古澤みどり（欠席）・石塚邦夫
- ・ 大澤健次郎・乙黒 健（欠席）
- ・ 堀内美幸

（学校側）

- ・ 中 千博 ・ 太田充

I 学校側から提案された内容

- ・ 自己評価（教職員）結果及び改善策について
- ・ 児童アンケート結果及び改善策について
- ・ その他

II 協議された主な内容

- ・ 自己評価書の内容，回答について
- ・ 児童アンケート結果の中での課題
- ・ 学校のあるべき姿について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

前回に引き続き双葉東小学校の総合評価は，総じて良好の水準を維持していると言える。

殆どの項目が肯定的方向で安定しているのは前回と同様である。また，日々の教育実践に対する評価は，比較的高い水準を維持しているといえる。

II 特徴

- ・ 国，県の指定を受けて，道徳の研究及び授業内容の充実に力を入れている。
- ・ あいさつ運動への取り組みは，地域，家庭を巻き込んで広まりを見せてきている。
- ・ 児童数が増えるに従って人間関係が希薄になったり，問題も生じやすくなったりしてきている。校長を筆頭に全ての教職員が子どもと向き合う努力をしてきている。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・子どもたちの健やかな成長と教育のために家庭教育の充実を図ることが重要である。
- ・子どもたちの躰について家庭，学校，地域が学びあう場が必要である。
- ・子どもたちの生活習慣，とりわけ「早寝，早起き，朝ご飯」については学校教育，家庭教育ともども積極的にすすめていく必要がある。
- ・あいさつ運動は大変定着してきている。あいさつの定着とともにさらなる健全育成と成長を願い，期待したい。
- ・子どもの成長発達段階の過程で，挙手や発言が少なくなる傾向があるが，自分の考えや意見がはっきり言えるようになることは大切なことである。
- ・いじめ等の問題はあるものだという視点を持ってこれからも力を入れて取り組まなければならない。
- ・子どもたちの健康な体作りのために，ラジオ体操等体力作りにも力を入れていかなければならない。

※ 特記事項

- ・高学年，低学年にかかわらず学校評価の数値結果が意味するものは何であるのか，細かな分析が必要である。また，質問と質問との相関関係についてもみていくと結果がより有効に活かせる。

記載責任者双葉東小学校 学校関係者評価委員

氏名： 堀内 美幸 印